

第25北海道チャレンジドサッカー大会（11人制）競技規則

1、ボール

- ・一般用5号ボール、ジュニア用4号ボール

2、競技者の人数

- ・1チーム11人で、うち1人はゴールプレーヤー。

3、競技者の用具

- ・F I F Aのルールにより、杖の使用は認めない
- ・選手は、他競技者と区別する為、背番号のついたシャツを着用する。（ビブスの代用可）
- ・ゴールプレーヤーのユニフォームは、他の競技者と区別できる色のものを用いる。また、同色チームのユニフォームの場合については、審判の判断にて片方のチームにビブスの着用を指示する。
- ・危険であったり、競技に支障をきたすおそれのある用具は、使用することができない。
- ・ネックレス、指輪、ピアス、皮革やゴムでできたバンドは禁止、テープで覆うことも禁止。ヘアバンド、柔らかくてパッドが入ったヘッドギア、フェイスマスクは使用可。
- ・眼鏡についてはスポーツメガネまたは、スキー用ゴーグルでカバーすることで着用を認める。

4、審判

- ・主審1名副審2名で行う。

5、試合時間

- ・試合時間 →前後半15分、ハーフタイムは5分のランニングタイムとする。
同点により勝敗が決しない場合は、PK（ペナルティーシュートアウト）方式により決定する。（3名以降サドンデス）
***参加チーム数により、試合時間を変更する場合がある。**

6、選手の交代

- ・選手交代は人数、回数とも自由とする。（メンバー表に記載した交代要員に限る）
- ・選手交代はアウトオブプレー中に行うこととし、主審の承認を得た後に行うこと。
- ・選手が負傷などの理由により、ピッチから出ようとしたり、入ろうとしたりするときは、主審の承認を得ること。

7、プレーの開始および再開

- ・キックオフをするチームの相手チームは、ボールがインプレーになるまで9.15m以上ボールから離れる。それ以外については、F I F Aのルールの通り。

8、ボールのインプレーおよびアウトオブプレー

- ・F I F Aのルールの通り

9、得点の方法

- ・F I F Aのルールの通り

10、オフサイド

- ・現行ルールで実施する。

11、反則と不正行為

- ・F I F Aのルールの通り
- ・バックパスルールを適用する。（ジュニアは除く）

12、フリーキック

- ・競技者は、9.15m以上ボールから離れる。それ以外はFIFAの規則の通り

13、ペナルティーシュートアウト

- ・FIFAの規則の通り

14、スローイン

- ・FIFAの規則の通り
- ・両手でのスローインが困難な人は、片手でのアンダースローインを認める。
- ・ファールスローに対してのやり直しはしない。

15、ゴールキック

- ・FIFAの規則の通り

16、コーナーキック

- ・ボールがインプレーになるまでに相手競技者は、9.15m以上ボールから離れる。それ以外はFIFAの規則の通り

17、ベンチ

- ・ベンチには監督、コーチ、選手以外は入らないこと。

18、コーチングエリア

- ・ジュニアクラスにおいては自チームのベンチ前及び自チームのゴール裏でのみコーチング可とする。
- ・それ以外の場所でのコーチングに対しては積極的に指導を行う。

19、オーバーエイジの出場

- ・ジュニアクラスにおいて当該チームにて継続して活動している選手で高校生以上のオーバーエイジの選手については、同時に2名まで出場できる。

20、その他

- ・競技に関する打ち合わせは監督会議の時に行う。
- ・荒天時の取り扱いについては、別途大会本部にて定める。
- ・落雷があった場合は試合を止め、中断をする。
- ・競技に関する不明な点、その他の不明な点は大会本部等に問い合わせること。